

項目1：校種	2．中学校
項目2：学年	1学年
項目3：内容	2．器楽
項目4：題材名	日本の楽器の響き
項目5：主な教材	さくら

第1学年2組 音楽科学習指導案

指導者 田口祐二郎

1．題材名 日本楽器の響き

2．題材の目標

- (1) 楽器の特徴や曲にふさわしい音色や奏法に関心を持ち、表現することに意欲的である。
- (2) 楽器の特徴や曲にふさわしい音色や奏法を感じ取り、表現を工夫しようとしている。
- (3) 楽器の特徴や曲にふさわしい音色や奏法を生かして表現する技能を身に付けている。
- (4) 我が国の音楽における楽器の音色や奏法の特徴、それらによる音楽の多様性、音楽の背景となる文化や歴史と他の芸術との関わりなどに関心を持ち意欲的に聴こうとしている。

3．生徒と題材

(1) 生徒の姿・生徒の声

男子11名、女子15名、合計26名のクラスである。男女とも授業に対する取り組みは意欲的で男女とも協力して活動できる。表現活動においてやや遠慮しあう場面も見られるがお互いに尊重しあう暖かい雰囲気を持ったクラスである。

日本の音楽に関しては、郷土の民謡については聴いて知ってはいるが、何か楽器を演奏したことのある生徒はほとんどいない。

(2) 学び合うこと

今回の学習では、三味線という和楽器を取り上げることになるが、歴史的なことや理論的なことは抜きにして、まずは三味線でメロディを弾けるようにすることによって三味線を身近なもの感じてほしい。そのためには演奏上の約束事もあまり細かいことは抜きにして始めたい。ギターと違って三味線の演奏で難しいのは、フレットがないために正確な音程が取りにくいことと、ばちの使い方であるので、最初はばちを使用しないで弾かせる。次にメロディが弾けるようになってからばちを使わせたい。

楽器が5～6人に1本しか準備できないので、他の生徒が練習しているときにもお互いに教え合ったり、学び合うようにして学習を進めさせたい。

(3) 教師の思い

近いようで遠い存在である和楽器を、身近で親しみのあるものと感じてほしい。そのためには、最初から姿勢、演奏法、楽器の名称などを細かく覚えさせるのではなく、とりあえず短時間でメロディを弾けるようにさせたい。短時間で集中させるために、メロディをいくつかの部分に区切って、目標時間内に弾けるようにさせる。

4. 研究主題との関わり

本校研究主題「自ら求めて学ぶ生徒の育成 - 基礎・基本の定着を図る学習指導 - 」
音楽科研究主題「合唱や合奏を通して、音楽を創造する喜びを味わうことの出来る生徒の育成」

課題設定・課題提示の工夫

- ・最初に三味線の演奏を鑑賞させて興味・関心を喚起させる。
- ・弾ける、という状態を演奏時間という具体的な目標を示すことで明確なものにする。
- ・細かい手順を省くことによって、より早く目標に近づけさせる。
- ・音程を覚える段階から、ばちを使える段階というステップを踏ませて、無理なく進ませる。

学習課程の工夫

- ・弾ける、という状態を演奏時間という具体的な目標を示すことで明確なものにする。
- ・個に応じた活動になるように無理のない目標設定にする。
- ・学び合う、教え合う学習活動にさせる。

評価の工夫

- ・自己評価と相互評価を「学習振り返りカード」を使って行う。

5. 指導計画

時 間	主な学習活動	教師の支援	評価とその方法
1	<ul style="list-style-type: none"> ・三味線の音楽に興味を持ち、自ら演奏しようとする。 ・「さくら」の最初の4小節を10秒以内で弾けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味の持てそうな演奏(CD)を選ぶ。 ・難しそうという意識を持たせないように、安心して取り組めるように課題を明確にさせる。 	評価カード 自己評価 相互評価 観察評価
2	<ul style="list-style-type: none"> ・「さくら」の最後までを30秒以内で弾けるようにする。 ・ばちを使って弾けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教え合いの学習ができるようにする。 ・ばちの使い方が難しいので分かりやすく説明する。 	評価カード 自己評価 相互評価 観察評価

「三味線」学習カード NO.1

1年 組 番氏名

アンケート

- | | | | |
|-------------------------|----|-----|-----|
| ・ 三味線で曲を弾いたことがありますか。 | はい | いいえ | |
| ・ 三味線を近い距離で聴いたことがありますか。 | はい | いいえ | |
| ・ 三味線には興味がありますか。 | はい | あまり | いいえ |

1. 三味線の歴史

三味線は今から約()年前に()から沖縄を通して日本に入ってきた楽器である。

2. 三味線とギターの違い

- (1) 弦の数 ギターは()本 三味線は()本
(2) 楽器の構造の違い ギターにはフレットがあるが三味線にはない。
楽器の皮は()か()の皮を使っている。
(3) 演奏法の違い ギターは指で弾くが、沖縄以外の三味線は指で弾かないで
()を使って弾く。
三味線は弦楽器と()の特徴を持っている。

3. 三味線の学習目標

- | |
|--|
| ・ 最初の4小節を10秒以内で弾く。
・ グループの全員が最初の4小節を10秒以内で弾く。 |
|--|

この目標を達成するために

- | |
|---|
| ・ 自分が弾いていないときに、練習している人を見て一緒に学習する。
・ 他のメンバーが練習しているに、指の位置や音程やメロディなどをアドバイスする。 |
|---|

「三味線」学習カード NO.2

11 月 日

1 年 組 番 班 氏名

学習の取り組みを振り返ってみよう。

1 あなたは最初の部分を何秒で弾けましたか。

秒

2 グループの何人が最初の4小節を10秒以内で弾けたか。

0人 1人 2人 3人 4人 5人 6人

3 自分が弾いていないときに、練習している人を見て一緒に学習したか。

はい だいたいOK あまりしなかった

4 他のメンバーが練習しているに、指の位置や音程やメロディなどをアドバイスしたか。

はい だいたいOK あまりしなかった

5 あなたの班の中で、3番と4番がよくできていた人の名前を書きなさい。
